

契約は慎重に行いましょう

リース契約

リース契約とは、ある「物」を利用したいユーザー（利用者）が、リース会社にサプライヤー（販売者）から「物」を購入してもらい、リース会社に料金を支払って借りることをいいます。

リース契約は、銀行や消費者金融からお金を借りる仕組みと似ています。たとえば、事業を始めるときに必要な機器等を準備する場合、自己で購入するとなるとまとまった資金が必要になります。一方、リース契約で機器を借りることによって、初期の金額を抑えることができます

POINT

1.リース契約のメリットとデメリット

●メリット

- ・資金調達の機能がある
- ・金融商品と違い金利に左右されない
- ・銀行の審査よりも簡単に契約できる
（リース契約にも取引の審査があります）
- ・リース期間を調整すれば最新の物を利用できる
- ・リース料金が経費扱いにできる

●デメリット

- ・途中で解約ができない
- ・クーリングオフができない
- ・リース会社の利益が含まれるため、購入代金よりは割高になる
- ・所有権が移動しない



POINT

2.それでも…リース契約を解除したい場合

リース契約では契約期間をまとうするのが原則になっていますので、中途解約をする場合は以下の費用を払うことが多いようです。

- 残りの費用
- 違約金
- 返却料（物を返却する際の運搬費用など）

その物が本当に会社にとって必要なかどうか、契約を進める前によく考えることが大切です。